

景況調査（第 108 回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2023 年度下期実績見込み・2024 年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016 年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

[目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期、水準）について	24
②仕入れの状況について	25
③雇用人員の募集方法・経路について	27
④消費意識・消費行動の変化について	28
IV. 生の声	29

[調査の概要]

- 調査対象：
 - ①三重県内の事業所 1,030 先 (回答 424 先／回答率 41.2%)
 - ②愛知県内の事業所 315 先 (回答 80 先／回答率 25.4%)
 - (合計調査対象数 1,345 先 (回答 504 先／回答率 37.5%))
- 調査時期： 2024 年 1 月中旬～ 1 月下旬
- 調査対象期間：
 - 2023 年度下期 (23 年 10 月～24 年 3 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
 - 2024 年度上期 (24 年 4 月～9 月) 見通し (文中表記「来期」)
- 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
- 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		424	100.0%	80	100.0%	504	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	49	11.6%	9	11.3%	58	11.5%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	375	88.4%	71	88.8%	446	88.5%
業種別	製造業	173	40.8%	28	35.0%	201	39.9%
	食料品(飲料含む)	25	5.9%	3	3.8%	28	5.6%
	繊維	3	0.7%	2	2.5%	5	1.0%
	印刷	6	1.4%	2	2.5%	8	1.6%
	石油・化学	12	2.8%	1	1.3%	13	2.6%
	窯業・土石	15	3.5%	1	1.3%	16	3.2%
	一般機器	28	6.6%	0	0.0%	28	5.6%
	電気機器	20	4.7%	2	2.5%	22	4.4%
	輸送用機器	30	7.1%	6	7.5%	36	7.1%
	その他製造	34	8.0%	11	13.8%	45	8.9%
	非製造業	224	52.8%	52	65.0%	276	54.8%
	建設	50	11.8%	11	13.8%	61	12.1%
	不動産	11	2.6%	5	6.3%	16	3.2%
	卸売	27	6.4%	14	17.5%	41	8.1%
	小売	41	9.7%	4	5.0%	45	8.9%
	運輸・倉庫	27	6.4%	7	8.8%	34	6.7%
	観光・宿泊	17	4.0%	1	1.3%	18	3.6%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	51	12.0%	10	12.5%	61	12.1%
	地場産業	27	6.4%	—	—	27	5.4%
	製材	7	1.7%	—	—	7	1.4%
	真珠養殖	1	0.2%	—	—	1	0.2%
	真珠加工販売	5	1.2%	—	—	5	1.0%
	鋳鉄・鋳物製造	2	0.5%	—	—	2	0.4%
	萬古焼製造	3	0.7%	—	—	3	0.6%
	萬古焼卸売	9	2.1%	—	—	9	1.8%
地域別	北勢	181	42.7%	—	—	181	35.9%
	中勢	126	29.7%	—	—	126	25.0%
	南勢	62	14.6%	—	—	62	12.3%
	伊賀	35	8.3%	—	—	35	6.9%
	東紀州	20	4.7%	—	—	20	4.0%
	愛知県	—	—	80	100.0%	80	15.9%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況判断 BSI は今期コロナ禍前を超えるプラスに。来期は鈍化の見通し。

【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比）は、2023 年度下期は+6.6 と、23 年度上期（△0.7）及び今期見通し（+1.6）を上回ってプラスに転じ、コロナ禍前を超えた。24 年度上期は+0.7 と、プラスを維持するものの勢いは鈍化する見通し。

業況判断 BSI を業種別にみると、製造業は、今期+5.8 と 4 期ぶりのプラスとなった。特に、半導体不足等の供給制約により減産を強いられてきた自動車関連を中心とする輸送用機器などが、問題解消で上向いた影響が大きい。外食需要増などにより食料品は 2 桁プラスが続く。非製造業は、今期+8.0 と 4 期連続のプラスでプラス幅は拡大した。運輸・倉庫が旅客、貨物ともに需要増、他業種より遅れていた価格転嫁が進展し採算は好転、5 期ぶりのプラスに転じた。観光・宿泊は 4 期連続の 2 桁プラス。建設は 9 期ぶりのプラスに転じた。

来期は、製造業が+1.7、非製造業が+1.3 といずれも今期より低下、回復の勢い鈍化を見込み、やや慎重な見通し。

懸念事項であった仕入価格 BSIは前期の+71.5 から今期+69.1、来期+59.6 と、上昇傾向は落ち着きを見せている。仕入価格上昇分の 7 割以上を価格転嫁できている企業は 60.4%を占め、価格転嫁は進展。「経営上の問題」では、「原材料高」が 4 期連続の 1 位となるも割合は低下、一方「人件費の上昇」が上昇し収益圧迫要因となっている。

23 年中の賃上げ率は、回答平均で 3.33%と 22 年（2.69%）より大きく上昇。特に、「ベースアップ」が約 2 割上昇した。24 年に賃上げ検討中の企業は 62.5%に上る。人員不足感は高水準で推移し、非製造業を中心に依然強い。人手不足への対応策としては、「採用強化」が高いが、「女性・高齢者の積極採用」や「残業対応」、「外国人の積極採用」などの上昇が目立つ。

設備投資を実施する企業割合（投資額 500 万円以上）は、今期 48.1%と上昇し、コロナ禍前を大きく上回る水準となった。

BSI		2023 年度 上期 (前期)	2023 年度 下期 (今期)	2024 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期 2 期ぶりプラス、来期はプラス幅縮小	△0.7	6.6	0.7
大・中堅企業	今期 5 期ぶりプラス、来期も 2 桁プラス	△3.6	24.5	14.3
中小企業	今期 2 期ぶりプラス、来期はわずかなマイナス	△0.3	4.3	△1.1
売上高 BSI	今期 4 期連続のプラス、来期はほぼ横ばい	6.9	9.3	6.0
販売数量 BSI	今期 0.0、来期はプラス	△1.3	0.0	2.9
在庫量 BSI	今期プラス幅縮小、来期は 0.0	4.7	2.0	0.0
販売価格 BSI	今期プラス拡大、来期も大幅プラス	38.2	43.6	36.3
仕入価格 BSI	今期、来期ともプラス幅縮小	71.5	69.1	59.6
採算 BSI	今期 10 期ぶりプラス、来期ややマイナス	△9.6	3.1	△3.1
資金繰り BSI	今期 5 期ぶりプラス、来期マイナスもほぼ横ばい	△6.5	0.7	△0.2
設備投資実施割合	4 期連続でコロナ禍前を上回る高水準	46.4%	48.1%	50.5%
雇用過不足感	不足感は依然高水準	49.6	51.7	—
※業況判断(水準)	23 年 10-12 月 (28.2) → 24 年 1-3 月 (19.0) → 4-6 月 (18.1) → 7-9 月 (22.0)			

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは、今期コロナ禍前を超えるプラスに。来期はプラス幅縮小の見通し。

◆全企業

業況判断 BSI（前年同期比、変化方向）は、2023 年度下期（以下、今期）は+6.6 と、23 年度上期（以下、前期）（△0.7）及び今期見通し（+1.6）を上回り、コロナ禍前を超えるプラスに転じた。24 年度上期（以下、来期）は+0.7 となり、プラス幅は縮小の見通し。

◆業種別 …今期、製造業は 4 期ぶりのプラスに転じる、非製造業はプラス幅拡大。 来期は、製造業、非製造業ともにプラス幅縮小。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

◇製造業 …今期（+5.8）はプラスに転じる。来期（+1.7）はプラス幅縮小。

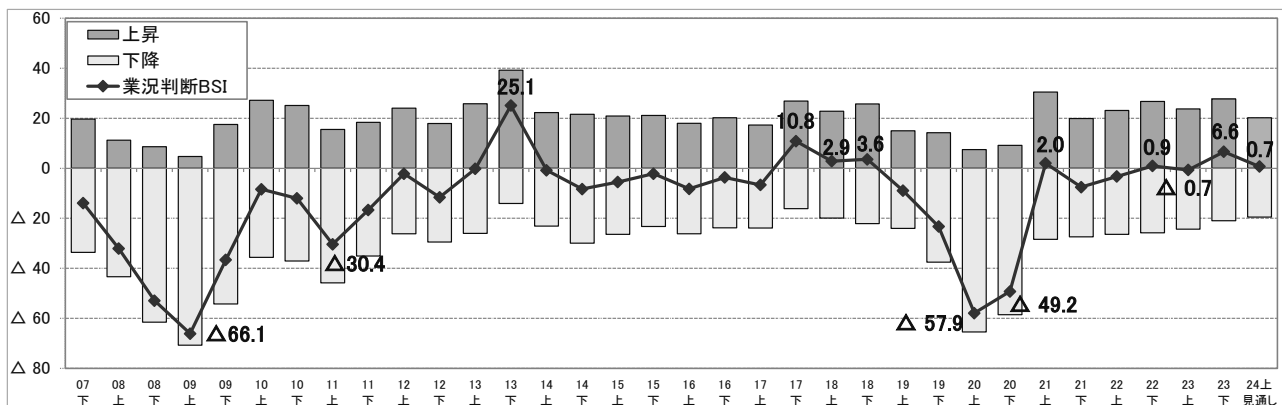
- 【輸送用機器】 今期 4 期ぶりプラスに転じ 2 桁プラス、自動車の挽回生産で売上高 BSI も 4 期ぶりプラス。来期にかけ、一部自動車メーカーの不正の影響も。
- 【食料品】 今期 3 期連続のプラスでほぼ横ばい、来期も 2 桁プラス。価格転嫁進み、採算好転（今期 2 桁プラス）。外食需要の回復も好影響。
- 【印刷】 今期 3 期ぶりプラス、来期は 0.0。
- 【石油・化学】 今期 6 期連続のプラスもプラス幅縮小、来期は大幅プラス。今期は中国経済や半導体業界の減速の影響等が重石も、来期はこれらの回復を見込む。
- 【窯業・土石】 今期 2 期連続のプラス、来期は横ばい。価格転嫁進み、採算好転。
- 【一般機器】 今期は 0.0 に改善、来期はプラス。今期、工作機械向け受注減、自動車メーカー稼働停止、海外の投資減速の影響。来期、EV 化加速で売上増。
- 【電気機器】 今期 2 期連続のマイナス、来期は横ばい。売上高 BSI マイナスで採算 BSI もマイナス。中国経済減速、能登地震の影響など。
- 【その他製造】 今期 4 期連続のマイナスで横ばい、来期はマイナス幅拡大。
- 【繊維】 今期 5 期連続のマイナスで、来期もマイナス幅拡大。

◇非製造業 …今期（+8.0）は 4 期連続プラスでプラス幅拡大、来期（+1.3）は縮小。

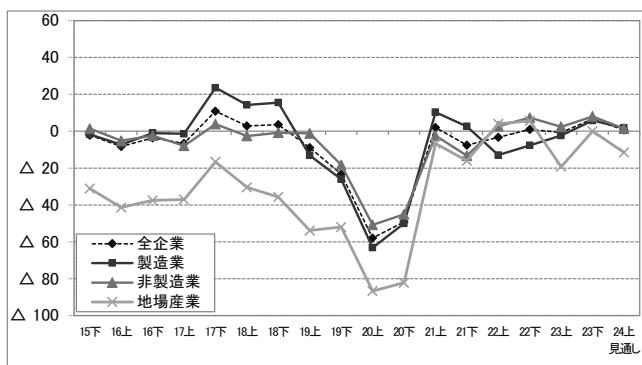
- 【運輸・倉庫】 今期 5 期ぶりのプラスに転じ大幅に改善、来期も 2 桁プラス。価格転嫁が進展し、販売価格 BSI は大幅プラス、販売数量、採算もプラスに転じる。
- 【観光・宿泊】 今期 4 期連続のプラスで 2 桁プラス、来期は 0.0。客足回復、価格転嫁の進展、設備投資効果で好調維持。勢い鈍化も、増収増益傾向続く。
- 【建設】 今期 9 期ぶりのプラスに転じるも、来期はマイナス。今期は工事量回復、コロナ禍での延期工事再開、大型投資も。人手不足で受注量調整など。
- 【卸売】 今期 2 期ぶりのプラスに転じ、来期プラス幅拡大。価格転嫁進み売上増。
- 【サービス】 今期 2 期ぶりのプラス、来期は 0.0。飲食店、サービス業、クレジットカード、建設仮設材レンタル、リース、ビルメンテナンス、情報通信など好調。
- 【不動産】 今期 3 期連続の 0.0 で横ばい、来期も 0.0。
- 【小売】 今期 0.0、来期はマイナス。価格転嫁進むが販売数量マイナス。採算はプラス。自動車は、一部メーカー不正の影響、納期遅延解消効果の一巡。

◇地場産業 …今期（0.0）はゼロに改善。来期（△11.5）はマイナス。

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下 (見通し)	23下	24上 (見通し)
全企業		△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	1.6	6.6	0.7
規模別	大・中堅企業	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	△ 3.8	△ 3.6	△ 3.6	24.5	14.3
	中小企業	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	1.6	△ 0.3	2.3	4.3	△ 1.1
業種別	製造業	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 7.7	△ 2.3	7.5	5.8	1.7
	食料品	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	3.8	19.0	14.3	20.0	16.0
	繊維	△ 50.0	△ 87.5	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 66.7
	印刷	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 50.0	0.0	△ 12.5	16.7	0.0
	石油・化学	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	20.0	23.1	38.5	8.3	41.7
	窯業・土石	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 18.2	12.5	18.8	6.7	6.7
	一般機器	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	△ 6.1	△ 6.1	0.0	3.6
	電気機器	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	0.0	△ 26.1	4.3	△ 5.0	△ 5.0
	輸送用機器	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 4.0	20.0	26.7	6.9
	その他製造	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 10.3	0.0	△ 11.8	△ 20.6
	大・中堅企業	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 3.8	8.3	8.3	15.4	19.2
	中小企業	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 8.3	△ 4.0	7.4	4.1	△ 1.4
	非製造業	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	7.4	2.4	△ 1.6	8.0	1.3
	建設	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.4	△ 18.5	8.0	△ 10.0
	不動産	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	△ 10.0	0.0	0.0
	卸売	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	7.1	△ 6.9	△ 13.8	7.4	14.8
	小売	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	32.5	17.5	0.0	△ 2.5
	運輸・倉庫	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 15.6	△ 15.6	25.9	18.5
	観光・宿泊	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	88.2	50.0	45.0	23.5	0.0
	サービス	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	8.9	0.0	3.8	2.0	0.0
地場産業	大・中堅企業	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	△ 3.8	△ 12.9	△ 12.9	34.8	8.7
	中小企業	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	8.8	4.6	0.0	5.0	0.5
	製材	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 25.0	△ 42.9	△ 28.6
	真珠養殖	100.0	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0
	真珠加工販売	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	25.0	25.0	20.0	0.0
	銑鉄鋳物	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	△ 50.0	△ 50.0	50.0	0.0
	萬古焼製造	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 66.7	0.0
	萬古焼卸売	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	25.0	11.1	0.0	25.0	△ 25.0
	製材	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 25.0	△ 42.9	△ 28.6
	真珠養殖	100.0	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0
	真珠加工販売	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	25.0	25.0	20.0	0.0
	銑鉄鋳物	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	△ 50.0	△ 50.0	50.0	0.0

※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

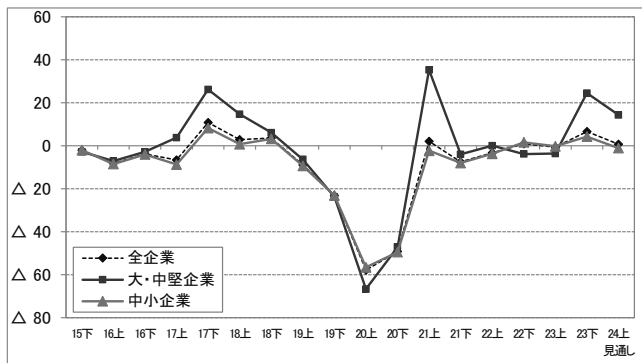
◆企業規模別 …大・中堅企業、中小企業とも今期は上向くものの、来期は慎重。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、大・中堅企業は、今期は5期ぶりの大幅なプラスに転じ、来期はプラス幅縮小するものの2桁プラスの見通し。中小企業は、今期2期ぶりのプラスに転じるものの、来期はわずかなマイナスに転じる見通し。

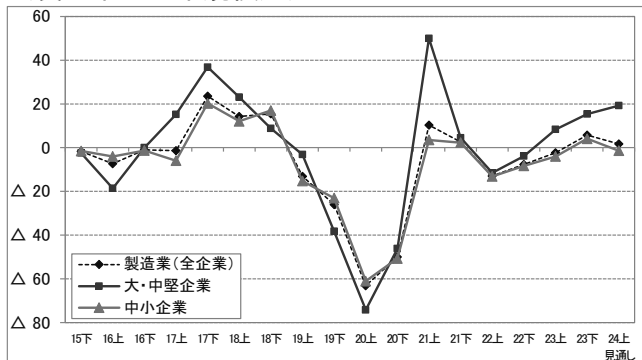
製造業は、大・中堅企業は今期・来期とも2桁プラス、中小企業は今期プラス、来期マイナス。

非製造業では、大・中堅企業は今期2桁プラス、来期はプラス幅縮小、中小企業も今期プラスで、来期はプラス幅縮小。

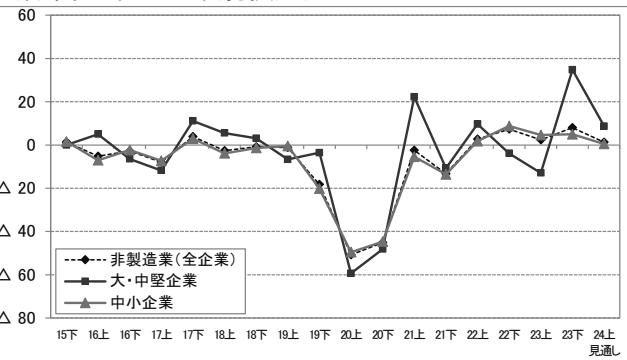
■業況判断BSI（企業規模別）



（製造業・企業規模別）



（非製造業・企業規模別）



◆地域別 …南勢地域は観光・宿泊等の影響で今期・来期ともプラス。北勢・中勢もプラス推移。

業況判断 BSI を地域別にみると、南勢地域は、今期4期連続のプラスで最もプラス幅が大きく、来期もプラスが続く見通し。南勢地域は、今期大幅プラスとなった観光・宿泊などの割合が高いことが影響。北勢地域は、今期は3期連続のプラスで、来期もプラスの見通し。中勢地域は、今期5期ぶりのプラスで、来期は幅縮小もプラスの見通し。東紀州地域と伊賀地域は、今期マイナスもマイナス幅は縮小、来期は再びマイナス幅拡大の見通し。

■業況判断BSI（地域別）の推移

	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下 (見通し)	23下	24上 (見通し)
全地域	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	1.6	6.6	0.7
北勢地域	△ 33.3	△ 63.6	△ 55.8	4.7	△ 5.7	△ 0.5	2.3	5.1	5.1	6.7	3.9
中勢地域	△ 15.9	△ 61.4	△ 42.0	15.5	△ 6.1	△ 7.0	△ 1.6	△ 3.9	△ 0.8	11.1	2.4
南勢地域	△ 11.1	△ 66.2	△ 62.7	△ 16.7	△ 13.1	16.2	23.4	6.3	9.4	12.9	8.1
伊賀地域	△ 21.3	△ 40.4	△ 41.7	△ 5.0	0.0	△ 28.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 2.7	△ 8.6	△ 17.1
東紀州地域	△ 14.3	△ 17.6	△ 19.4	△ 11.1	△ 18.8	△ 20.0	△ 34.5	△ 38.1	△ 33.3	△ 15.0	△ 30.0

(前回調査時点)